



第 18 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告書(発行日 2024 年 9 月 11 日)

DBJ は、2024 年 4 月に策定した DBJ サステナビリティボンドフレームワーク(以下、「フレームワーク」)に基づき、2024 年 9 月 11 日付で第 18 回 DBJ サステナビリティボンドを発行しました。

■フレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン

- フレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン(認証機関:ISS ESG。以下、「オピニオン」)についての詳細は下記リンクをご確認ください。

https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/202404_SPO_JA.pdf

- DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、以下のカテゴリーから構成される適格ファイナンス(詳細はオピニオンの「1.調達資金の使途」をご確認ください)のいずれかに充当されることとしております。

【DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金に充当可能なプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	➤グリーンビルディング ➤再生可能エネルギー ➤エネルギー効率 - DBJ 環境格付融資 ➤クリーンな輸送
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	➤雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止 又は軽減のためのプログラム - 地域緊急対策プログラム等 ➤手ごろな価格のベーシックインフラ - 送電網の改修 (エネルギー効率 - エネルギー効率の高い送配電網) ➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	➤手ごろな価格の住宅 ➤必要不可欠なサービスへのアクセス - ヘルスケア ➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

■第 18 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(概観)

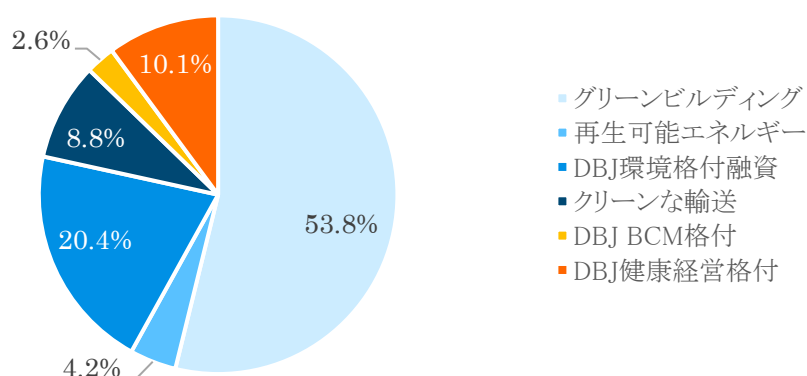
- 第 18 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、下記 6 つのプロジェクトカテゴリーに充当を完了しております(2025 年 6 月 6 日時点)。プロジェクトカテゴリー毎のアロケーション比率については下記パイチャートをご確認ください。
- 第 18 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、発行日時点(2024 年 9 月 11 日時点)で既に実行済みの投融資に充てており、リファイナンス比率は 100%となっております。
- 未充当金は、現金又は現金同等物で管理することとしておりますが、第 18 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金の未充当額は存在していません。

* 調達資金の管理についてはオピニオンの「3.調達資金の管理」をご確認ください

【第 18 回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金を充当したプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グリーンビルディング ➤ 再生可能エネルギー ➤ エネルギー効率 <ul style="list-style-type: none"> - DBJ 環境格付融資 ➤ クリーンな輸送
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会経済的向上とエンパワーメント <ul style="list-style-type: none"> - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会経済的向上とエンパワーメント <ul style="list-style-type: none"> - DBJ 健康経営格付融資

プロジェクトカテゴリー毎の発行代わり金アロケーション比率



■第 18 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(詳細)

- 第 18 回 DBJ サステナビリティボンドに充当したプロジェクトカテゴリーについての詳細は下記の通りです。

① グリーンビルディング

①-(1) DBJ Green Building 認証制度 において 3 つ星、4 つ星又は 5 つ星評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- DBJ Green Building 認証とは、「環境・社会への配慮」がなされた不動産とその不動産を所有・運営する事業者を支援する取り組みとして 2011 年に創設された認証制度です(DBJ Green Building 認証についての詳細は、リンク(<http://igb.jp/>)をご覧ください)。

案件数	8 件
認証取得年度	2022~2023 年度

➤ プロジェクト例

取引先	野村不動産マスターファンド投資法人
本社所在地	東京都
物件所在地	東京都
融資通貨	円
案件概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ DBJ は、野村不動産マスターファンド投資法人に対し、オフィスビル 3 棟 (PMO 田町、PMO 芝公園、PMO 銀座八丁目) の取得に係る融資を実行しました。なお、当該物件は全て DBJ Green Building 認証を取得しております。 ・ 本投資法人は、低環境負荷物件への投資と、保有物件における環境・省エネルギー対策等の運用を通じたエネルギー利用の効率化に取組み、低環境負荷ポートフォリオの構築を目指しています。 ・ KPI として、保有物件のグリーン認証(3★相当以上)取得割合※を 2030 年度までに 70%まで向上させることを目指しています。 <p>※ グリーン認証(3★相当以上)とは、DBJ Green Building 認証 3★以上、BELS 認証 3★以上、または CASBEE 不動産 B+以上を指す</p> <p>※ 底地物件を除く保有物件の延床面積ベース</p>
URL	https://www.nre-mf.co.jp/ja/esg/environmental/green-properties.html



PMO 田町



PMO 芝公園



PMO 銀座八丁目

出典 : <https://igb.jp/gb-wp/wp-content/uploads/2023/08/20230831-topics.pdf>

①-(2) Global Real Estate Sustainability Benchmark (グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク、GRESB) の「グリーンスター」評価を獲得した企業、建物、不動産又は REIT に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

➤ GRESB についての詳細は下記リンクをご確認ください。

<https://gresb.com/>

案件数	16 件
認証取得年度	2024 年度

② 再生可能エネルギー

➤ CO2削減に係る環境インパクト

カテゴリー	案件数	年間発電総量*	推定 CO ₂ 削減効果/年*
バイオマス	4件	46,708MWh**	19,758 t-CO ₂ ***
合計	4件	46,708 MWh**	19,758 t-CO ₂ ***

* 総プロジェクトコストに於ける DBJ のファイナンス割合を考慮して算出した当行寄与分

**経済産業省(日本)開示の平均稼働率を元に推計

***環境省(日本)開示の係数を元に推計

③ エネルギー効率- DBJ 環境格付融資

➤ DBJ 環境格付融資は、環境経営への取り組みが優れた企業を評価・選定する「環境格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	5件
合計	5件
認証取得年月	2021/11~2022/8

④ クリーンな輸送

➤ サブセクターおよび所在地の分布

サブセクター分布	鉄道 100%
所在地	日本 100%

⑤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資

➤ DBJ BCM 格付融資は、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定する「BCM 格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	1 件
電気・ガス・熱供給・水道業	2 件
運輸業、郵便業	2 件
情報通信業	2 件
建設業	1 件
合計	8 件
認証取得年月	2021/10~2022/6

⑥ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

➤ DBJ 健康経営格付融資は、従業員の健康や働き方への配慮に関する健康配慮への取り組みに優れた企業を評価・選定する「健康経営格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	1 件
合計	1 件
認証取得年月	2022/1

(2025 年 6 月 6 日現在)